



今年^{ことし}は残書^{ざんしょ}があまりきびしくなく、
 すすしい秋^{あき}が、かけ足^{かけあし}でやってきまし
 た。運動会^{うんどうかい}があった学校^{がっこう}も、無事^{ぶじ}終わ
 ったほっとひと息^{ひといき}しついにNO.1思^{おも}います。
 秋^{あき}は、スポーツ^{スポーツ}の秋^{あき}、芸術^{げいじゆつ}の秋^{あき}、
 食欲^{じきよく}の秋^{あき}など、いろいろあります。が
 ぜひ図書室^{としよふしつ}で本^{ほん}を借^かり、読書^{よみかき}の秋^{あき}を
 楽しんでみましょう。

まじょ まほう ほん 魔女・魔法の本しょうかい

10月31日はハロウィンですね！ ハ
 ロウィンといえば、おばけや魔女^{まじょ}。

プラディアにも魔女^{まじょ}や魔法^{まほう}がのつてい
 ますので、調べてみましょう！

魔女^{まじょ}や魔法^{まほう}の本^{ほん}はたくさんあるので、
 その中^{なか}からおすすめの本^{ほん}を紹介^{しょうかい}します。



『パのツバスタ-とまほうの小石』
 作^{さく}: ウィリアム・スタイグ 発行^{はつこう}: 評論社^{ひやうろんしゃ} (分類^{ぶんるい}: えほん 絵本)

パのツバスタ-は、小石^{こいし}を集めるの
 が好き。ある日、何でも願^{ねが}いがかな
 う「まほうの赤^{あか}い小石^{こいし}」を見^みつけま
 す。大喜^{おおよろこ}びのツバスタ-でしたが…?

『かぎばあさんの魔法のかぎ』
 作^{さく}: 手島 悠介^{てしま ゆうすけ} 絵^え: 岡本 颯子^{おかもと さつこ}
 発行^{はつこう}: いわき書店^{いわきしょてん} (分類^{ぶんるい}: 913 テ)

テストで100点をとったのに、カニ
 グをしたとうたがわれた広一^{こういち}。かぎば
 あさんから「3回^{かい}だけ心^{こころ}が読^よめる」
 魔法^{まほう}のかぎをもらいますが…。

『魔女の宅急便』 作^{さく}: 角野 栄子^{かどの えいこ} 絵^え: 林 明子^{はやし あきこ}
 発行^{はつこう}: 福音館書店^{ふくんかんとしょてん} (分類^{ぶんるい}: 913 カ)

アニメでもおなじみの魔女^{まじょ}の宅急便^{たっきゅうびん}の原作^{げんさく}
 です。アニメとは内容^{ないよう}が少しちがうので、その
 ちがいを比べてみるとおもしろいかも？そし
 て、最終^{さいしゆう}巻^{かん}の6巻^でが出^でたのは、何^{なん}と、おとし
 です！28年^{ねん}かけて完結^{かんけつ}した人気^{にんき}シリーズ。

『おとなりさんは魔女』 作^{さく}: ジョージ・イヅリ
 発行^{はつこう}: 岩波書店^{いわなみしょてん} (分類^{ぶんるい}: 933 エ)

「これから先^{さき}ずっと、たいくつしませんよう
 に…」穴^{あな}のあいた白^{しろ}い石^{いし}は、何^{なん}でも願^{ねが}いのか
 う石^{いし}でした。魔女^{まじょ}がおとなりで幼稚園^{ようちえん}をはじめ
 たり、ユニコーン^{にわ}が庭^{にわ}にあらわれたり、とんで
 もないことばかりが起^おきます。

なはりしがっこうとしよかん
 名張市学校図書館だより 小学校版
 しんがつごうごうごん
 平成二十七年読書の秋号
 ねんごくごう
 発行…教育センター

こんかい
 今回のおしらせ
 ● 魔女・魔法の本紹介
 ● 読書週間とまんが

あき どくしょしゅうかん 秋の読書週間とまんがについて



秋の読書週間は、11/3の文化の日を中心とした2週間となっています。この文化の日ですが、手塚治虫の誕生日でもあることから、「まんがの日」ともなっています。今やすっかり日本の文化の代表の一つとなりつつある「まんが」。今回はまんがについて、少し紹介したいと思います。

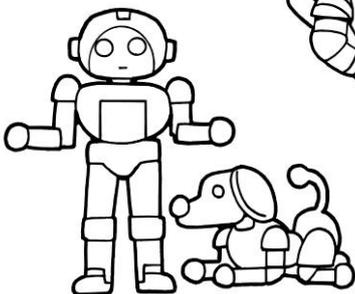
まんがの始まりはよくわかっていませんが、平安時代の『鳥獣戯画』が日本で最古のまんがではないかと言われています。江戸時代には、葛飾北斎が、絵のお手本として描いたスケッチ『北斎漫画』が出版され、海外でも人気がありました。モネ、ゴッホ、ゴーギャンなどの印象派に影響を与えたとされています。



「北斎漫画」
ほくさいまんが

※国立国会図書館デジタルコレクションより

昔からまんがには、未来の夢がたくさんまわっていました。



昔、まんがに出てきたロボットも今では工場などで活躍！

戦前にもまんがはありましたが、戦後のまんがの発展に手塚治虫は大きく貢献しました。ところが、まんがは悪いものだと、なくそうという運動が起こりました。その理由が「『高速道路』や『ロボット』なんてできるはずがない」「手塚はデタラメを教える子どもの敵だ」ということでした。今では考えられませんが、当時は「高速道路」も「ロボット」も「できるはずがない」と思われていたのです。

その後いろいろな人にささえられ、まんがはここまで「文化」として育ちました。学校図書館にも「はだしのゲン」をはじめ「ひみつシリーズ」や「ドラえもん」「コナン」「ちびまる子ちゃん」や「両さんの学習まんが」そして手塚治虫のまんがもおかれるようになりました。「活字が苦手」という人も、まんがなら読めるかも？まずは一冊、手に取って読んでみましょう。



まんが豆知識

- 「はだしのゲン」は週刊誌（まんが本）で連載されていました。
- 手塚治虫の「火の鳥」は34年かけて描かれました。
- 今も掲載されている一番長い漫画は、今年で連載57年目です。

編集後記



何かと悪者にされがちな「まんが」ですが、「まんが」ならではのいいところもあります。それは、パッと見ただけで内容が分かることです。文字だけのお話だと、頭の中で想像しながら読むので知らない物が出てくると「何？」となってしまいますが、まんがだと絵で表現してあるので見ただけで分かります。活字が苦手な人は、まず絵と文字の「まんが版」から読んでみましょう。その後、同じお話を活字本で読むことで、想像しながら読むことのおもしろさに気づくかも？